

みんなで地域づくり事業企画書

<p>団体名</p>	<p>にこにこ文庫さとの子会</p>
<p>事業名</p>	<p>家庭文庫 にこにこ文庫</p>
<p>目的・必要性</p>	<p>文庫を開設して1年半、広く市内の乳児親子の絵本を通じた支援の場、地域の子どもたちを育む活動を行ってきました。</p> <p>年4回の新聞の発行や、季節の行事をとりこんだママサロン、保健センターや図書館とのコラボで絵本や子育てについて学ぶ機会も作ってきました。参加者は平均14組30人小学生15人、ここ半年で1294人になりました。</p> <p>（2014年9月現在）午前中は乳幼児親子が参加しますが、参加者が増えてきたため時間をずらして昼過ぎにやってくる親子もいます。木のおもちゃで遊んだあとは、絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべうたを楽しみます。それもとても楽しい時間ですが、それ以上にママ同士の交流や、文庫スタッフとの育児相談なども参加するママたちには魅力のようです。</p> <p>26年度は近隣地区だけでなく、市内全域から遊びに来る親子もいるなど、子育て世代の家庭文庫のニーズを感じます。午後3時を回ると放課後の小学生が来所し、本を読んだり工作をしたりと居場所的な役割も担っています。他機関や地域のシニアとの連携もはかれ、準スタッフとして関わるママたちも増えてきました。</p> <p>課題としては参加する親子が増え、ゆっくりと絵本を読んだり、ママたちとの交流の時間をとったりすることが十分できなくなったことです。</p> <p>子育て世代に絵本を通して育ち合う場があることは子どもにとっても、大人にとっても貴重な時間と場です。このような家庭文庫を充実させること、さらには他地域での文庫開設のニーズを感じています。</p> <p>この文庫をきっかけとして、今後市内に絵本を通じた子ども達と親子の集う場が充実し、より多くの子どもたちが豊かな時間を過ごす場をつくることを目的とします。</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・にこにこ文庫の継続開催 週1回10時～17時 ・ママサロンの企画運営 <ul style="list-style-type: none"> 文庫に参加する親たちが主体的に学ぶ場、たとえば子どもの発達や食事、てづくりのおやつやおもちゃの作り方などを教え合ったり、子育ての悩みを相談しあったりする場として。 ・「にこにこ文庫新聞」の発行（別添） ・文庫の継続開催に向けて、スタッフの養成と充実。 ・他地区への文庫開設に向けての準備を行う。（候補としては千代田、めいわ地区） ・他の文庫事例の視察。 ・文庫の参加者の意見等を、子どもの読書活動推進や社会教育推進に反映させるよう、各会議等で提案する。 ・プレママクラスへの出張読み聞かせを行う。

	時期	具体的な取組
スケジュール	4月	にこにこ文庫継続開催・ママサロンの実施
	5月	文庫新聞の発行・スタッフ募集
	6月～	他の文庫事例視察、他地区への文庫開設のリサーチ
	8月	スタッフ研修、他地区への文庫開設の準備
	10月～12月	出張文庫開設・文庫新聞の発行・スタッフ研修
	1月～3月	文庫新聞の発行
	役割分担の想定	<p>（団体の役割）</p> <p>文庫運営、広報、スタッフ研修</p> <p>気になる親子の情報提供と家庭問題への早期対応をつなげる。</p> <p>子どもの読書活動推進計画〈第二次〉への策定委員を通しての情報提供、</p>
<p>（市の役割）</p> <p>社会教育課・・・小中学校への文庫の紹介</p> <p>図書館・・・放課後の小学生への案内・周知への理解・書籍の団体貸出し</p> <p>こども保育課・家庭支援課・・・乳幼児親子への文庫の案内チラシ配架</p>		
他団体との連携	<p>子ども会連合会・自治会・PTA・・・参加者の呼びかけ、スタッフ協力</p> <p>絵本サークル・・・本の選定・読み聞かせ協力</p> <p>サンデー木工倶楽部木楽会・・・テーブルの作成</p> <p>保健センター・・・子どもたちの健康についての学習会開催協力</p> <p>市内 NPO・文庫連盟</p> <p>みんなで地域づくりセンター・・・他団体・地域との連携</p>	
期待される成果	<p>親子の参加者も増え、準スタッフとして関わってくれるママたちも増え、場を共有することが子育ての孤立化を防ぎ、ともに育ち合うことの大切さを子育て世代も感じることができる。</p> <p>にこにこ文庫の良さを他地域に広げてくことで、各地域での子どもたちの居場所づくりと子育て世代の育ちの場を増え、子どもたちがそれぞれの地域で豊かに育っていくことを期待している。</p>	